

機関名	佐渡市消防本部
任命権者	佐渡市消防長
計画期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
佐渡市消防本部における障がい者雇用に関する課題	佐渡市消防本部においては、消防士という業務内容から、これまで障がい者に限定した募集・採用は行っていない。 これまで障がいのある職員が在籍したことがなく、障がい者雇用における課題は生じていないため、組織的な体制整備は特段行ってこなかった。
目標	
① 採用に関する目標	今後、障がい者に限定した募集・採用を独自に行う見込みはないことから、在籍している職員に対して、障がい者雇用に関する知識（障がい特性を含む。）を付与する機会を設け、障がい者雇用に関する職員の理解の促進を図る。 （評価方法） 障害者雇用推進者である消防本部総務課長が、年1回実施状況を点検し、任命権者である消防長に報告する。
② 定着に関する目標	障がい者である職員が配置された場合は、不本意な離職者を生じさせない
取組内容	
1. 障がい者の活躍を推進する体制整備	○障害者雇用推進者として、消防本部総務課長を選任する。
2. 障がい者の活躍の基本となる職務の選定・創出	○窓口職員や事務職員として、障がい者である職員が配置された場合は、本人に職場での配慮事項等を確認し、負担なく遂行できる職務の選定及び創出について検討する。
3. 障がい者の活躍を推進するための環境整備・人事管理	○現に障がい者である職員が在籍しておらず、今後相当期間、職員を採用しないことが見込まれるため、当該項目に記載すべき事項は特段ないが、在籍している職員に対しては、障がい者雇用に関する知識（障がい特性を含む。）を付与する機会を設け、障がい者雇用に関する職員の理解の促進を図る。
4. その他	○国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障がい者の活躍の場の拡大を推進する。